学校番号	3028

令和８年度　理数科

教科	(専)理数	科目	(学) 専門化学	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書							
副教材等	高等学校 化学基礎(第一学習社), 高等学校 化学(第一学習社) 自主編集プリント集, 改訂版フォトサイエンス化学図録(数研出版), 新課程版セミナー化学基礎＋化学(第一学習社)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

物質及び化学変化に積極的に興味関心をもち、自主的にこれを探究する態度と、身の回りの物質やその変化の理解を通して、科学的な思考力に基づく自然観を養成する。1 年次に化学基礎で学習した内容をふまえ、2 年次では「有機化合物」について学習していく。

2　学習の到達目標

【知識および技能】
化学の基本的な概念や原理・法則を理解し，観察や実験技能を身につける。
【思考力，判断力，表現力など】
観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力，人間性など】
日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行う。化学的な事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	化学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・原則について理解を深め、知識を身に付けている。また、観察・実験などを通じて、基本的操作を習得し、それらの過程や結果を的確に記録・整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する能力を身に付けている。	化学的な事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通じて事象を科学的に考察している。また、導き出した考えを的確に表現している。	化学的な事物・現象に関心を持ち、科学的な見方や考え方から、意欲的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期(1)	有機化合物・炭化水素	有機化合物の特徴 有機化合物の構造式の決定	a: 有機化合物に関する事物・現象に関する基本的な概念や原理・原則について理解を深め、知識を身に付けている。また、観察・実験などを通じて、基本的操作を習得し、それらの過程や結果を的確に記録・整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する能力を身に付けている。 b: 有機化合物に関する事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通じて事象を科学的に考察している。また、導き出した考えを的確に表現している。 c: 有機化合物に関する事物・現象に関心を持ち、科学的な見方や考え方から、意欲的に探究しようとしている。	授業観察 実験操作 問題演習 定期考査	授業観察 実験 レポート 問題演習 定期考査	授業観察 実験 レポート 問題演習
前期(2)		飽和炭化水素 不飽和炭化水素		授業観察 実験操作 問題演習 定期考査	授業観察 実験 レポート 問題演習 定期考査	授業観察 実験 レポート 問題演習
前期(3)	酸素原子を含む有機化合物	アルコール エーテル アルデヒド ケトン		授業観察 実験操作 問題演習 定期考査	授業観察 実験 レポート 問題演習 定期考査	授業観察 実験 レポート 問題演習
後期(1)		カルボン酸 エステル 油脂とセッケン		授業観察 実験操作 問題演習 定期考査	授業観察 実験 レポート 問題演習 定期考査	授業観察 実験 レポート 問題演習
後期(2)	芳香族化合物	芳香族炭化水素 酸素原子を含む芳香族化合物 窒素原子を含む芳香族化合物 芳香族化合物の分離		授業観察 実験操作 問題演習 定期考査	授業観察 実験 レポート 問題演習 定期考査	授業観察 実験 レポート 問題演習

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度